

財団奨学金小委員会

委員長	初田 隆生	(和歌山北RC)
アドバイザー	吉野 惣太	(堺泉ヶ丘RC)
委員	嶋田 崇	(有田RC)
〃	佐藤 憲成	(泉佐野RC)
〃	中野 均	(堺東RC)
〃	木綿 紀文	(和歌山RC)
〃	林 俊行	(和歌山RC)
〃	檜畑 友洋	(和歌山東RC)

【基本姿勢】

ロータリー財団国際親善奨学生を海外に派遣し、また海外から受け入れ、国際相互理解の推進に寄与できるよう努力する。

財団奨学金の意義をロータリアンに理解して頂けるよう努める。

財団部門の各小委員会と協力して、国際親善奨学生の派遣実績を把握し、財団学友の近況等を取りまとめる。また財団学友同士の連携や親睦を図るための懇親会等の開催に協力する。

【活動計画】

■ 海外派遣国際親善奨学生について

- ① 2009－2010 年度国際親善奨学生として 10 名の派遣が決まっており、指定教育機関に留学できるように奨学生への指導や相談への助言を行なう。
- ② 2010－2011 年度国際親善奨学生については、2008－2009 年度中に募集・選考試験が行われた後、合格者へのオリエンテーションを実施し、国際ロータリーの親善使節としての自覚と責務について指導するとともに、指定教育機関への留学に関する諸問題についての対応を指導する。
- ③ 2011－2012 年度の奨学生募集については、『2011－2012 年度 ロータリー財団奨学生募集ポスター』を 2010 年 2 月頃に当地区内各クラブ等に配布し募集を行い、選考試験問題を作成し、2010 年 5 月中に奨学生選考試験（筆記試験・面接）を実施する。奨学金の種類は変更され 1 学年度奨学金のみとなる予定。詳細がわかり次第、対応し、選考合格人数は DDF と応募状況等を勘案のうえ最終決定する。
- ④ IM 等での会議において、財団奨学金の意義をロータリアンに理解して頂けるよう努める。

■ 海外からの受け入れ国際親善奨学生について

- ① 2008－2009年度財団国際親善奨学生の受け入れは4名（フィリピン・ドイツ・イタリア・フランス）の6ヶ月文化研修生を受け入れました。
- ② 2009－2010年度の受け入れ国際親善奨学生については、財団本部より指示があれば、受け入れ奨学生の詳細を受け取り次第、対応する。

■ 財団学友について

- ① 財団部門の各小委員会と協力し、過去の国際親善奨学生の派遣実績を把握・検証し、財団学友の近況等を取りまとめる。また財団学友同士が連携や親睦を図るための懇親会等の実施に協力する。